

●優良賞（農林水産省農村振興局長表彰）

やまかわ ふさこ
山川 房子

いびがわ
（岐阜県 揖斐川町）

しいたけソーセージ、美濃いび茶けんとなんソーセージ

◇活動の経緯、内容

山川房子さん夫妻は、県の畜産試験場等が開発した銘柄豚「飛騨けんとなん・美濃けんとなん」を扱う畜産（養豚）農家である。以前より「飼料や肉質にこだわって、消費者に安心して喜んでもらえる豚を生産したい」と考えていた山川夫妻は、この「けんとなん」を導入することで付加価値の高い養豚経営を目指した。

その中で房子さんは、自家製ソーセージ作りにチャレンジし、自宅敷地に施設を整備、精肉販売、食肉製品製造業、露天商の営業許可を取得して生産・加工・販売活動に取り組んでいる。



地域で生産の盛んなしいたけや茶、地域で採れる薬草を使ったソーセージ類は、宅配やイベント販売を通じて消費者に届けられ、好評を得ている。

今後は、地域の恵まれた立地条件を活かし、単なる農業体験でない、宿泊も含めた農村生活の体験ができる場の提供など、グリーンツーリズムを視野に入れた展開を模索しているところである。

◇代表作品の紹介

しいたけソーセージ、美濃いび茶けんとなんソーセージ：

「けんとなん」のもも肉をベースに、地場産の椎茸や美濃いび茶を加えたソーセージは、日本人好みの味に仕上がりに、子どもたちにも好評である。

他にもイブキジャコウソウとレッドビートを使った「ハーブソーセージ」など、薬草の宝庫とされるこの地域ならではの品も開発している。

